

パブリックコメント ご意見(7件)

No.1

<p>意見等の概要</p>	<p>その他</p>	<p>宇和島市事前復興計画について、話合いに参加させていただきました。まとめられているものは、その際に話し合われた内容が丁寧に盛り込まれていて感心しました。関係いただいている方々のご尽力のおかげだと感謝します。</p> <p>実際に災害が起こってからでは、ゆっくりと落ち着いて議論する間もなく、次々に決断を迫られて大変だということを以前の研修会でお聞きしました。</p> <p>いつか、必ず来る災害に対して、今回のような事業を行っていただき、地域だけでなく、学校の子どもたちにもじっくりと考える時間をいただけたことは、きっと今後役に立つと思います。今回の計画が少しでも進み、災害発生時に少しでも多くの方の命を救い、その後も地域を存続するため、そして、地域の方たちが力を合わせてよりよい「遊子」を創るために、今後も何かしらの形で自分自身も関わっていけるといいなと思っています。</p> <p>単なる感想でしかありませんが、こうした取組に感謝していることをお伝えしたく、コメントさせていただきました。今後とも、どうぞ、よろしくお願いいたします。</p>
<p>市の対応</p>	<p>地域ワークショップへのご参加ありがとうございます。</p> <p>大規模災害が発生した場合は、復興の担い手となる組織・団体等でも被災者が発生する中で、被災者支援やまちの復興等の様々な取組が求められます。これらの取組は、市、市民や地域、事業者・各種団体等が連携を図りながら進める必要があります。</p> <p>計画策定後につきましては、市民一人ひとりが、事前復興の取組を自分事としてとらえることができるように、現在、実施している防災啓発の中に事前復興に関する内容を加えて、学校教育、情報発信等に取組みます。</p> <p>引き続き、ご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。</p>	

意見等の概要	その他	<p>プロセス編 1 章かビジョン編 1 章(又は両方)で、以下の様な内容についても簡単に触れておけば、事前復興計画を策定する必要性などがより伝わりやすくなるのではないかと考えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●復興計画と事前復興計画について(地域防災計画)</li> <li>●被災後に復興計画などを策定することの大変さ(東日本大震災における被災自治体の経験)</li> <li>●まちづくり計画 1 章に記されている「復興事前準備の位置付け」(防災・減災と復興事前準備)</li> </ul>
市の対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>●復興計画と事前復興計画について(地域防災計画)</li> </ul> <p>上位計画である宇和島市地域防災計画に「事前準備として事前復興まちづくりを推進する取組み等を定める事前復興計画を作成する」と記載しており、これに基づき本計画を策定したものです。本計画において、上位計画との位置づけや必要性についてはビジョン編 P1、2 に掲載しております。</p> <p>なお、現在の宇和島市地域防災計画は本計画策定前の計画であるため、今後、地域防災計画の改定にあわせて修正することとしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●被災後に復興計画などを策定することの大変さ(東日本大震災における被災自治体の経験)</li> </ul> <p>本計画では復興計画の策定のみならず、復興にかかる全体の計画であり、東日本大震災の経験はビジョン編 P1 に記載しております。東日本大震災時の各自治体における復興計画の策定も含め、復興には長期間要しており、早期に復興を進めるために計画策定後も「事前準備」の取組を進めることとしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●まちづくり計画 1 章に記されている「復興事前準備の位置付け」(防災・減災と復興事前準備)</li> </ul> <p>「復興事前準備の位置づけ」につきましては、ビジョン編 P31 に記載しております。</p>	

意見等の概要	その他	<p>伊達博物館の移転建設について</p> <p>南予文化会館の場所に移設し、文化会館と合併する。</p> <p>理由①:お城に近い。:観光客にとって動線が良くなる。</p> <p>理由②:バス停が近い。:観光客にとってアクセスしやすい。</p> <p>理由③:商店街が近い。:観光客が流れる。</p> <p>理由④:複合施設にすることによって、展示物がより多くの市民の目に触れる機会が増える。(今は場所さえ知らない人が多い)</p> <p>理由⑤:観光客目線での移転建設を考えて欲しい。現在の場所は、不便。行き方もよく分からない。</p>
市の対応	<p>本計画は、大規模災害が発生したとしても、復興までの期間短縮や復興の質の向上、適切化等を図り、事前復興まちづくりの取組により被害の軽減、早期対応の実現を図るための全体の方向性を決める計画です。個別の計画について定める計画ではなく、すでに決定している計画を変更するものではありません。</p> <p>なお、復興まちづくりの土地利用の基本方針として、復興ビジョン編 P23 の記載のとおり、大規模災害発生後を想定した位置づけですが、津波の浸水想定に対して、安全な場所での整備や津波に対応した構造(ピロティ形式)等を検討することとしています。</p>	

意見等の概要	復興ビジョン編 P27.29	<p>三間町出身の者です。事前復興計画の作成に心より感謝申し上げます。</p> <p>質問・ご意見です。</p> <p>①南海トラフ巨大地震は広域災害であり、宇和島市だけでは対応が困難になる事例が多発すると思われます。そのため西予市等など近隣の市町村との連携について検討されているのか気になりました。特に三間町は宇和島市街地と西予市に挟まれています。なんらかの形で(西予市から被災者が三間町に来るなど)宇和島市街地や西予市の人間がダブルブッキングする可能性があると思いました。さらに、三間町に仮設住宅や公共施設を移す限度を超えた場合、西予市、鬼北町、松野町とも連携しなければなりません。南海トラフ巨大地震は広域災害ですので、近隣市町村との連携についても事前復興計画に述べる必要があるのではないのでしょうか。</p>
市の対応	<p>大規模災害が発生すると市内外から安全な地域に被災者が避難することとなり、避難先として三間地域を選択される被災者も想定されるため、広域避難について、ビジョン編 P51、53 に記載しております。</p> <p>また、国、県、近隣市町村との連携体制の構築も重要であることから、ビジョン編 P77 に記載しております。</p> <p>なお、三間地域につきましては、事前復興まちづくり計画のモデル地域に設定しておりますので、来年度以降、地域ワークショップを開催します。ぜひ、参加ください。</p>	

## No.5

意見等の概要	その他	<p>大変わかりやすく参考にさせていただきます。</p> <p>HP から資料もダウンロードして再度読ませていただきます。</p> <p>商工会として、会員事業者の復興支援を行ううえで大変参考になる資料です。</p> <p>吉田地域は特に被害が多く想定されるため、三間地域との連携をしていきたいと思ひます。</p> <p>三間地域の仮設住宅、商業施設の予定地や活用についてもっと知りたい所はありますので、今後、公開される内容も注視していきたいと思ひます。</p> <p>ありがとうございました。</p>
市の対応	<p>愛媛県地震被害想定調査結果によると、吉田地域を含む宇和島市内全域で津波等による大きな被害が想定されています。</p> <p>商工業等の生業については、働く場の維持や早期復旧を図ることが重要で、ビジョン編 P66 の記載の復興事前準備を進めることが、災害への備えとなると考えています。</p> <p>なお、三間地域につきましては、事前復興まちづくり計画のモデル地域に設定しておりますので、来年度以降、地域ワークショップを開催します。ぜひ、参加ください。</p>	

## No.6

意見等の概要	その他	<p>宇和島市事前復興計画(素案)について</p> <p>この計画(素案)は、全国や愛媛県内の他の市町で事前復興の取り組みを進める上でも参考になるので、パブリックコメントの意見公募期間終了後も、計画公表までの期間は、町ホームページで素案が閲覧できる状況を維持して欲しい。</p> <p>※リンク切れ等にならないようにしてほしい。</p>
市の対応	<p>申し訳ございませんが、素案につきましては、パブリックコメントでの意見を募集するための計画案ですので、意見募集期間終了後はいったん閲覧を終了させていただきます。</p> <p>なお、策定後、本計画を市ホームページに公開いたします。</p>	

	復興まちづくり計画	<p>今回の事前復興まちづくり計画にご参加・ご尽力頂きました方々に感謝いたします。</p> <p>平成30年度の事前復興フォーラムで東京大学の学生が事前復興プランを発表して6年が過ぎました。</p> <p>その時に大学生から市役所を駅の横に移転し、国道を商店街の駅側に移設する等の提言を頂きました。</p> <p>その後、提案された場所には、翌年にパフィオうわじまが建ち、市役所は移転することなく増築され、伊達博物館は、更に海側に新築が決定されました。</p> <p>しかし、今回のまちづくり計画では、23ページに『市役所が津波災害警戒区域内に位置することから、安全な場所に災害対応の拠点となる新たな施設整備の検討』と書かれています。</p> <p>更に22ページには、『公共施設等が対応年数等を迎え、立て替え等が必要な際には、津波災害警戒区域外の安全な場所への移転を検討』と書かれています。</p> <p>危機管理課と建設部と教育委員会は、違う市の部署なのでしょうか？</p> <p>もし、万が一同じ市の部署であれば、それぞれの部署の当時の決定責任者のコメントを記入してください。</p> <p>以前、連合自治会理事と全部長との会議の中で『部長会を開いて横の連携を作り、重要案件は全市体制で臨んで欲しい』との意のをお願いしました。それを2年度(2回)においてお願いしました。</p> <p>その当時は、『部長会なるもの自体がない』と、伺いましたが、今は、少なくともこの事前復興計画は、全部長・全職員(宇和島市から給与等をもたらしている方)に正しく理解されていることを望みます。</p>
市の対応		<p>本計画は、津波災害警戒区域内の建築物について、大規模災害発生後の復旧のあり方や事前の備えに関する考え方を示したものです。</p> <p>また、全庁的な取組として、担当者レベルによる職員プロジェクト会議、市長・副市長・教育長・部長級からなる庁内検討会議、外部委員からなる策定委員会で協議、検討し、策定しております。</p>